

平成30年度発達障害研修【子どもの支援編】実施要項
～発達が気になる子の理解と支援～

1 目 的	<p>子どもを支援している中で、発達が気になるお子さんがいた時に、支援者は、早い段階において適切な対応を図ることが重要です。</p> <p>そこで、本研修では、未就学児から小学生位までの子どもを支援している方を対象に、子どもや保護者への支援を的確に行うために発達障害の基本的な知識・技術を修得することを目的として開催します。</p>
2 期 日	平成30年11月5日（月）及び11月12日（月）【2日間】
3 場 所	茨城県水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館4階 大研修室
4 対 象 者	社会福祉施設等に従事している職員 <u>※2日間とも受講できる方を対象とします。</u> 【定員96名程度】
5 研修日程	別添、研修日程のとおり
6 受 講 料	1人9,000円 （当日、受付にてお支払いください。） ※茨城県社会福祉協議会会員の事業所等（以下「本会会員」という。）は、1人5,000円です。
7 申込方法	別紙受講申込書に必要事項を記載し、FAXにより下記まで送付してください。 ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（申込書到着順） <u>※受講できない方のみ、本会より電話でお伝えいたします。</u> <u>※FAX到着確認の電話は不要ですが、不達の場合は研修受講ができませんので予めご了承ください。</u>
8 申込期日	平成30年10月9日（火）～平成30年10月26日（金）【先着順】 ※本会会員事業所は、9月25日（火）から申込み可とします。
9 そ の 他	<p>① 受講申し込み後に、欠席または申し込み事項に変更がある場合は、速やかに茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部にご連絡ください。<u>無断欠席の場合は、「受講料」を請求することがありますので、予めご了承ください。</u></p> <p>② 受講申込書に記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。なお、本研修の受講者名簿に、氏名・所属・職名を掲載いたしますので、ご了承下さい。</p> <p>③ 駐車場の収容台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。</p> <p>④ 天候等の理由により、研修室の安全が確認できない場合は、中止することもありますのでご了承ください。受講当日の時間の変更等は、本会ホームページに掲載します。⇒掲載場所⇒茨城県社会福祉協議会（http://www.ibaraki-welfare.or.jp/）⇒社会福祉従事者研修ご案内（トップページ右側中段）で検索してください。</p> <p>⑤ <u>服装は、1日目は（演習の都合上）、動きやすい服装で参加してください。また、体温調節ができるものをご着用下さい。</u></p> <p>⑥ <u>昼食は、各自ご持参ください。</u></p> <p>⑦ 研修時に、配慮が必要な方は、事前に下記までご連絡ください。</p> <p>⑧ 研修時に、「ルートイン水戸県庁前」（水戸市千波町 1953-1 TEL：029-305-0111）ご利用の方は、「総合福祉会館利用者」であることを伝えると、割引が受けられます。</p>
10 問 合 わ せ・参加申込先	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（平間・勝又） 〒310-8586 水戸市千波町1918 TEL 029-244-3755 FAX 029-244-3210

研 修 日 程

【1日目】

日 時	研修科目及び講師名	ねらい
【11月5日】 9:20～9:50 9:50～10:00	受 付 開 講／あいさつ・オリエンテーション	
10:00～12:00	講 義 ① 乳幼児期の発達が気になる子のようす ② 発達障害の子どもの特徴（ADHD・自閉症スペクトラム・LD・知的障害） ③ 支援が必要な子の見分け方 ④ 子どもの発達は「反射」から：原始反射と統合 ⑤ 発達が気になる乳幼児の行動事例	発達障害についての基本的な知識を習得する。
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～16:00	講義/演習 ⑥ 子ども成長発達に重要な感覚 ⑦ 発達のピラミッド ⑧ 感覚統合を促す身体アプローチ（口・手・足） ⑨ 発達課題を持つ子へのタッチケア演習	発達障害の子ども（未就学児～小学生程度）の行動を理解し、対応できるスキルを習得する。
16:00	閉 会	

【2日目】

日 時	研修科目及び講師名	ねらい
【11月12日】 9:20～10:00	受 付	
10:00～12:00	講 義 ① 優位感覚と支援（見る力・聞く力・話す力） ② 乳幼児期の発達を見守る視点 ③ 発達課題とライフスキル（環境設定と構造化）	発達障害についての基本的な知識を習得する。
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～16:00	講義/演習 ④ 保護者の支援とコミュニケーション（障害の受容の段階） ⑤ 現場で使える応用コミュニケーションスキル 子どもの「課題」を「強み」に変えるグループワーク ⑥ 質疑応答	発達障害の子ども（未就学児～小学生程度）の行動や保護者を理解し、対応できるコミュニケーションスキルを習得する。
16:00	閉 会	

※研修のプログラムは変更がある場合がございますので、予めご了解ください。

講師紹介：Re. sense Labo（リセンスラボ）代表 小林 純子 氏

総合病院の急性期看護から高齢者看護を経て、院内教育指導管理職や看護学校教員に従事後、2005年より個人事業によるメンタルヘルスケアにて約5000件の相談実績を持つ。その後、自身の自閉症スペクトラム障害児の子育て経験から2015年3月に発達障害支援事業の法人設立。子育てに関する相談、お母さんのメンタルケアを始め発達障害育児の家庭療育講座（ペアレントトレーニング）講師及び、保育・教育関連に向けた子どもの発達に関する講演・研修講師を務めている。

【資格等】看護師、日本感覚統合学会員、介護支援専門員、発達障害コミュニケーション初級指導者、自閉症スペクトラムタッチケア指導者、メンタルケアスペシャリスト、メンタルコーチ1級、心理カウンセラー1級、協会認定こども発達ケア指導者養成講座講師、発達障害ポータルサイト『LITARICO 発達ナビ』コラムライター